

# ぴっくす

## まちの話題



### 『子ども会大会で活動発表』

平成13年度大崎町子ども会大会が総合体育館で催され、表彰や活動発表、レクリエーションなどが行われました。

大崎町の子ども会は、同じ地域に住んでいる小中学生で組織されていて、異年齢の子ども達が互いに助け合いながら、自立心や社会性、協調性を育て、心豊かで元気な子どもになることや個性を伸ばすことを狙いとしています。

当日は、野方の南中組子ども会などが大崎町モデル子ども会として感謝状の贈呈を受けたほか、活動発表では、菱田の宇都口子ども会がクリスマス会などの活動を、持留の岡別府子ども会が棒おどりなどの活動を発表しました。



### 『雄のポニーが誕生しました』

野方立小野の西池隆さんは馬が好きで、ポニーを約2年前から飼いはじめ、このたび、新たに雄が生まれました。名前を太郎と名付け、現在、5頭を所有しています。

西池さんは、鹿屋・肝属ふれあいポニー同好会のメンバーで、しゃんしゃん馬としてイベントや祭りなどで年に約40回、ポニーを踊らせて、たくさんの人達を楽しませています。

調教は生まれて1年経った頃から始め、カセットテープを流しながら脚踊りをさせるとのことですが、馬く踊れるようになるまでに最低でも半年はかかるそうです。

西池さんは、「これからもいろんなイベントなどにポニーを出して、たくさんの人に見てもらいたいと思います。」と、話されました。



### 『県本土トップで田植え』

3月4日、菱田で養鰻業を営む斎藤和昭さんは、鹿児島県本土でトップを切って超早場米こしひかりの田植えを行いました。

この日は、2月1日にポットに植え付けて育てた苗を、約7反ある田んぼに植えました。今年は、1反当たり600キロを見込んでいて、7月20日の丑の日に合わせて、7月15日頃には収穫を終えたいとのことでした。

斎藤さんは、「おいしい米とうなぎをセットでお得意さんに贈るつもりです。」と話されました。

